

2025年8月7日

学修時間・学修実態及び 授業評価に関する報告書

2025年度春学期

清泉大学短期大学部
IR室

目的

- 清泉大学 短期大学部の2025年度春学期
授業評価アンケートを分析すること.
- 学科別、学年別、授業形態別に分析
 - 共通教育(略称: 共通)
 - こども学科(略称: こども) ※2024年度入学生は「幼児教育科」として
 - 国際コミュニケーション科(略称: 国際) ※対象は2年生のみ
- 本学の教学マネジメント体制における, 教育課程
の編成に関する全学的な方針の検討への基礎
データとして活用すること.

調査概要

■ 調査時期

- ・ 2025年7月

■ 調査対象

- ・ 清泉大学 短期大学部生を対象とした。
- ・ 分析対象としたのは、2025年度春学期に開講した科目のうち82科目(※)。総回答数1,793件。

表1 学年別・学科別・授業形態別の分析科目数

学科	配当年次	講義	演習	実技・実習	小計
共通	1・2年	5	－	－	5
	1年	2	2	2	6
こども（幼教）	1年	6	16	0	22
	2年	2	18	1	21
国際	1年	1	1	－	2
	2年	7	19	－	26
総計					82

(※) アンケート実施科目のみ掲載（実際の開講科目数とは異なる）

調査項目① 授業時間外の学修時間

■ 調査方法

- ・授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として学修時間を調査した。
アンケートは無記名アンケート方式で行った。

■ 調査項目：(学修時間と学習行動について)

Q2 毎回平均してどのくらいこの授業の予習復習を行いましたか？

- 1 : 0時間
- 2 : 30分程度
- 3 : 1時間程度
- 4 : 1時間半程度
- 5 : 2時間以上

■ 分析方法

- ・各選択肢の間隔は30分であり均等であるため、間隔尺度として用いた。また、1を「0分」、2を「30分」と学修時間の推計量として用いた。

調査項目① 記述統計

- 短期大学部全体における学修時間の平均値は、推定52.6分であった。昨年同期(51分)と比較してほぼ同水準値となった。こども学科(幼児教育科)は49.8分(昨年度45分)となり増加した(1年生は同水準、2年生の学修時間が12分増加した)。国際コミュニケーション学科(2年次のみ)は61.9分(昨年度62分)となり、ほぼ同水準値となった。
- 各科とも全体的に演習科目群の学修時間が高い傾向にある。

表2 学科別・授業形態別の授業1回当たりの予習・復習時間の推計値(分)

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体	
		平均(σ)	科目数	平均(σ)	科目数	平均(σ)	科目数	平均(σ)	科目数
共通	1・2年	46.3 (18.47)	5	— —	0	— —	0	46.3 (18.47)	5
	1年	26.2 (2.73)	2	52.7 (5.60)	2	23.2 (1.79)	2	34.0 (13.79)	6
	小計	40.6 (18.13)	7	52.7 (5.60)	2	23.2 (1.79)	2	39.6 (17.21)	11
こども(幼教)	1年	48.7 (21.80)	6	50.4 (19.13)	16	— —	0	49.9 (19.91)	22
	2年	40.0 (5.00)	2	50.0 (11.14)	18	63.2 —	1	49.7 (11.24)	21
	小計	46.5 (19.41)	8	50.2 (15.43)	34	63.2 —	1	49.8 (16.27)	43
国際	1年	30.0 —	1	63.8 —	1	— —	0	46.9 (16.88)	2
	2年	56.5 (14.59)	7	65.5 (25.42)	19	— —	0	63.1 (23.36)	26
	小計	53.2 (16.23)	8	65.4 (24.78)	20	— —	0	61.9 (23.33)	28
総計		47.0 (18.68)	23	55.7 (20.43)	56	36.5 (18.90)	3	52.6 (20.51)	82

1：0時間、2：30分程度、3：1時間程度、4：1時間半程度、5：2時間以上

調査項目② 授業満足度

■ 調査方法

- ・授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として授業満足度を調査した。アンケートは無記名アンケート方式で行った。

■ 調査項目：(この授業について)

Q この授業全体を振り返り、満足できる内容であったと思いますか。

- 1 : そう思わない
- 2 : あまり,そう思わない
- 3 : どちらともいえない
- 4 : やや,そう思う
- 5 : そう思う

■ 分析方法

- ・科目ごとに項目得点の平均値を算出したうえで、学年、学科、授業形態に分けて平均得点を算出した。

調査項目② 記述統計

- 短大全体における授業満足度の平均値は、4.72であった。昨年同期の4.68と比べるとやや増加した。
- 全学科・授業形態別も平均値が4.0以上となり、全体的に良好な結果となった。
- 国際コミュニケーション科は平均値が4.75であり、学生の満足度は高かった。

表3 学科別・授業形態別の授業満足度

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体	
		平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数
共通	1・2年	4.76 (0.14)	5	— —	0	— —	0	4.76 (0.14)	5
	1年	4.34 (0.22)	2	4.64 (0.36)	2	4.81 (0.02)	2	4.60 (0.31)	6
	小計	4.64 (0.25)	7	4.64 (0.36)	2	4.81 (0.02)	2	4.67 (0.26)	11
こども（幼教）	1年	4.66 (0.09)	6	4.78 (0.13)	16	— —	0	4.74 (0.13)	22
	2年	4.46 (0.29)	2	4.74 (0.20)	18	4.41 —	1	4.69 (0.23)	21
	小計	4.61 (0.19)	8	4.76 (0.17)	34	4.41 —	1	4.72 (0.19)	43
国際	1年	4.70 —	1	4.63 —	1	— —	0	4.66 (0.04)	2
	2年	4.57 (0.35)	7	4.83 (0.30)	19	— —	0	4.76 (0.34)	26
	小計	4.59 (0.33)	8	4.82 (0.30)	20	— —	0	4.75 (0.33)	28
総計		4.61 (0.27)	23	4.77 (0.24)	56	4.68 (0.19)	3	4.72 (0.25)	82

調査項目③ 学習成果の到達目標

■ 調査方法

- ・授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として【科目の学習成果の到達目標に対する認識】を調査した。アンケートは無記名アンケート方式で行った。

■ 調査項目：(この授業について)

Q この授業は、学習成果の到達目標に対する知識・技能の習得に役立ったと思いますか。

- 1 : そう思わない
- 2 : あまり,そう思わない
- 3 : どちらともいえない
- 4 : やや,そう思う
- 5 : そう思う

調査項目③ 記述統計

- 短大全体における学習成果目標に対する目標到達度の平均値は4.72であり、昨年同期の4.73とほぼ同水準となった。幼児教育科では2年生の平均値が上昇している。
※科目数1の項目については、統計的に妥当な比較が困難なため、比較対象として考慮しなかった。
- 全学科・授業形態別は平均値が4.0以上となり、全体的に良好な結果となった。
- 国際コミュニケーション科の平均値は4.71であり、学習成果は達成できたと考えられる

表4 学科別・授業形態別の学習成果目標に対する目標到達度

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体	
		平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数	平均 (σ)	科目数
共通	1・2年	4.76 (0.13)	5	— —	0	— —	0	4.76 (0.13)	5
	1年	4.48 (0.23)	2	4.69 (0.26)	2	4.69 (0.02)	2	4.62 (0.22)	6
	小計	4.68 (0.21)	7	4.69 (0.26)	2	4.69 (0.02)	2	4.68 (0.20)	11
こども（幼教）	1年	4.68 (0.08)	6	4.77 (0.12)	16	— —	0	4.75 (0.12)	22
	2年	4.55 (0.22)	2	4.76 (0.16)	18	4.45 —	1	4.72 (0.18)	21
	小計	4.65 (0.14)	8	4.76 (0.14)	34	4.45 —	1	4.73 (0.16)	43
国際	1年	4.50 —	1	4.63 —	1	— —	0	4.56 (0.06)	2
	2年	4.59 (0.35)	7	4.78 (0.34)	19	— —	0	4.73 (0.35)	26
	小計	4.58 (0.33)	8	4.77 (0.34)	20	— —	0	4.71 (0.34)	28
総計		4.63 (0.24)	23	4.76 (0.24)	56	4.61 (0.11)	3	4.72 (0.24)	82

調査項目③ 共通教育科目の学習成果(詳細)

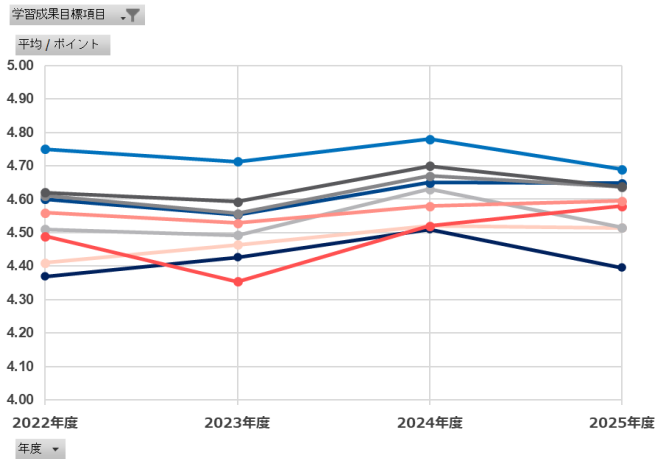
- 短大共通教育の学習成果目標別の目標到達度の平均値は、4.68(昨年度:4.74)であった。数値的に若干の低下がみられる。
- 「豊かな人間性」科目群は他の科目群に比べると、目標到達度の平均値が低い傾向にあり、特に「内容理解」においては3ポイント台となった。昨年度と比べても「豊かな人間性」科目群は大きくポイントが低下している。

表5 共通教育科目の学習成果目標別・科目群の目標到達度の平均値

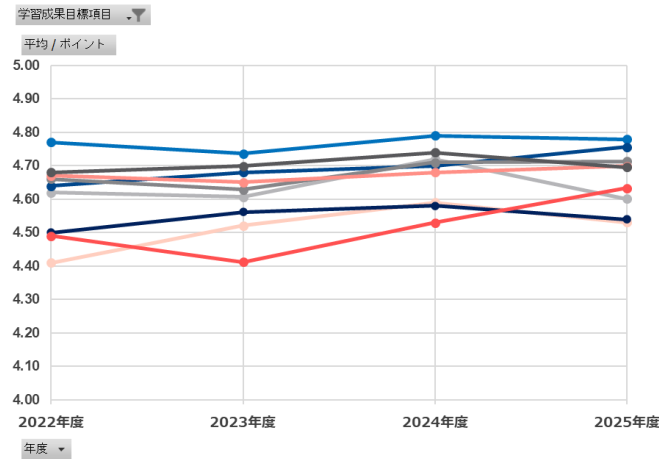
学習成果目標	科目数	学習 時間	授業 姿勢	目的 理解	シラ バス	内容 理解	教材 工夫	伝達 方法	AL 活用	授業 満足	学習 成果
1 知識・教養	8	45分	4.51	4.52	4.69	4.40	4.65	4.64	4.58	4.60	4.64
2 視野の広さ	4	51分	4.53	4.60	4.78	4.54	4.76	4.71	4.63	4.70	4.70
3 豊かな人間性	2	26分	4.29	4.14	4.53	3.95	4.48	4.40	4.29	4.34	4.48
4 コミュニケーション能力	5	36分	4.68	4.79	4.74	4.66	4.70	4.79	4.72	4.78	4.75
5 健康・体力	3	24分	4.66	4.84	4.78	4.73	4.77	4.83	4.70	4.87	4.79
	全体	40分	4.55	4.60	4.72	4.49	4.68	4.69	4.61	4.67	4.68

調査項目③ 経年推移(共通教育科目)

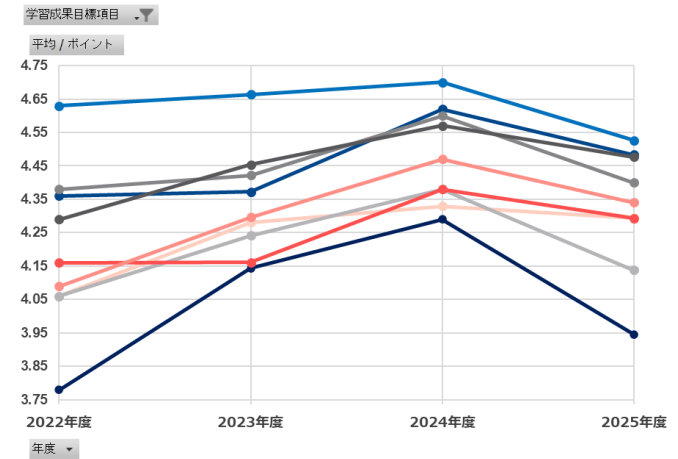
1 知識・教養



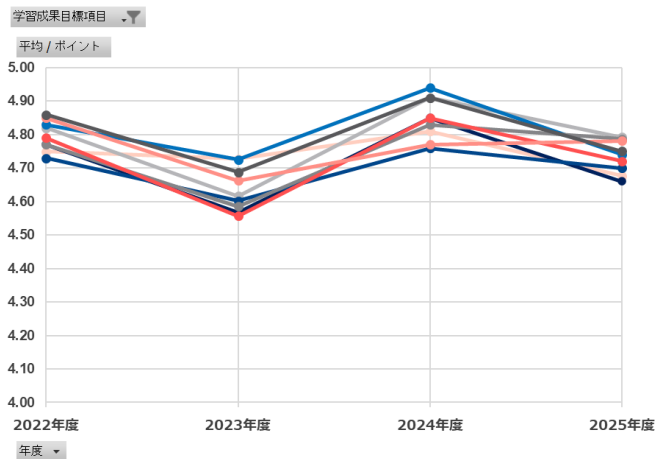
2 視野の広さ



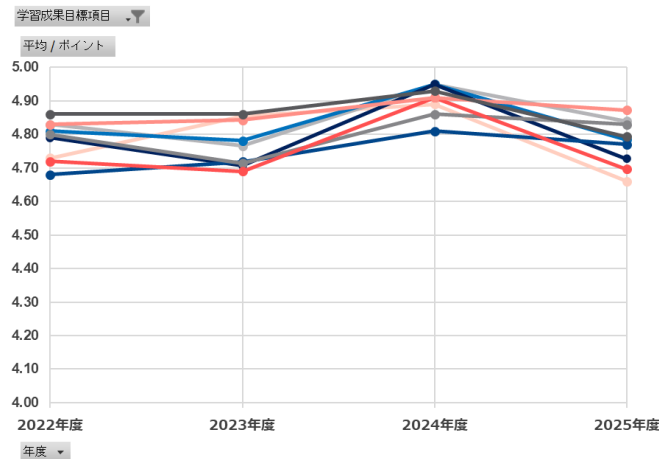
3 豊かな人間性



4 コミュニケーション能力



5 健康・体力



授業姿勢 目的理解 シラバス 内容理解 教材工夫 伝達方法 AL活用 授業満足度 学習成果

調査項目③ こども学科(幼児教育科)専門科目の学修成果(詳細)

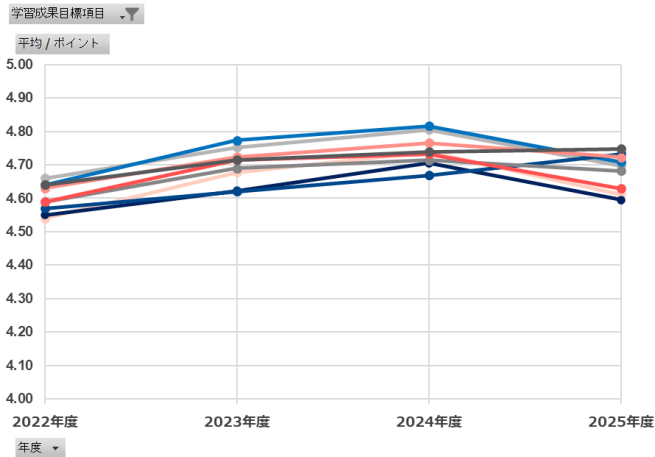
- 幼児教育科の学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値は、4.73(昨年:4.74)となり、昨年同時期とほぼ同水準となった。昨年同時期との比較では、4項目で上昇、4項目で低下がみられた。
- 全アンケート項目に対して平均値が4.0以上であり、全体的に良好な学習成果であったと考えられる。
- 経年推移においても、目標到達度の著しいポイント増減はなく、例年通りの学修成果を維持している。

表6 幼児教育科 学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値

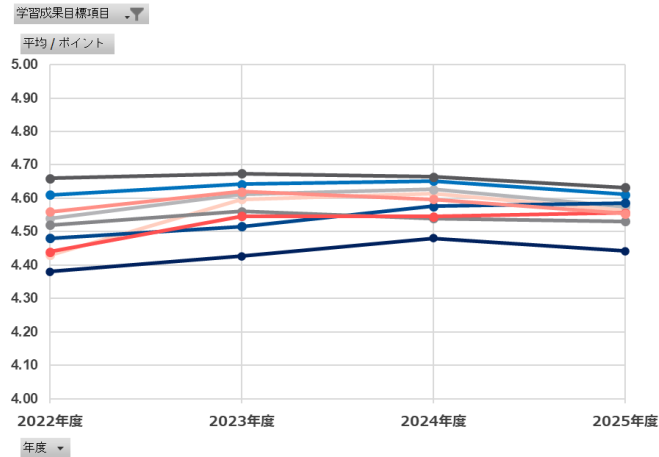
学習成果目標	科目数	学習 時間	授業 姿勢	目的 理解	シラ バス	内容 理解	教材 工夫	伝達 方法	AL 活用	授業 満足	学習 成果
① II a 保育の基礎的教養（現代的教養・社会的教養・倫理観）の習得	5	49分	4.61	4.70	4.71	4.59	4.73	4.68	4.63	4.72	4.75
② II b 保育の原理・目的の理解	6	57分	4.56	4.57	4.61	4.44	4.59	4.53	4.56	4.55	4.63
③ II c 保育及び支援の対象の理解	12	43分	4.53	4.66	4.68	4.57	4.63	4.62	4.59	4.67	4.70
④ II d 保育内容や保育方法、具体的援助の方法の理解	20	46分	4.61	4.71	4.70	4.64	4.64	4.63	4.66	4.69	4.71
⑤ II e 保育に関する基礎的技能の獲得	18	56分	4.71	4.77	4.72	4.69	4.66	4.67	4.67	4.74	4.75
⑥ II f a～eに基づく保育の総合的実践力の基礎の獲得	12	54分	4.65	4.70	4.68	4.59	4.63	4.60	4.63	4.66	4.70
⑦ III 保育実践の思考力や課題解決能力、行動力の基礎の修得	7	53分	4.75	4.84	4.81	4.79	4.80	4.78	4.78	4.83	4.82
⑧ IV 保育実践の表現力・創造力・感性の基礎の修得	6	49分	4.75	4.87	4.83	4.86	4.81	4.84	4.85	4.86	4.82
⑨ V 保育実践の主体性や自己学習能力の基礎の修得	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩ VI a 保育者の体験力の基礎の修得	4	42分	4.70	4.79	4.77	4.82	4.68	4.72	4.79	4.78	4.75
⑪ VI b 保育者の人間関係力、他者との協働性の基礎の修得	4	35分	4.72	4.80	4.80	4.83	4.67	4.67	4.81	4.80	4.80
全体		50分	4.65	4.73	4.72	4.65	4.67	4.67	4.67	4.72	4.73

調査項目③ 経年推移(こども学科(幼児教育科))

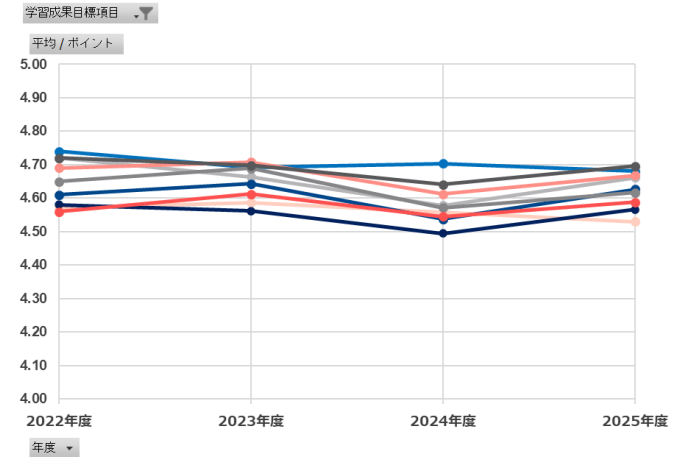
Ⅱa 保育の基礎的教養(現代的教養・社会的教養・倫理観)の習得



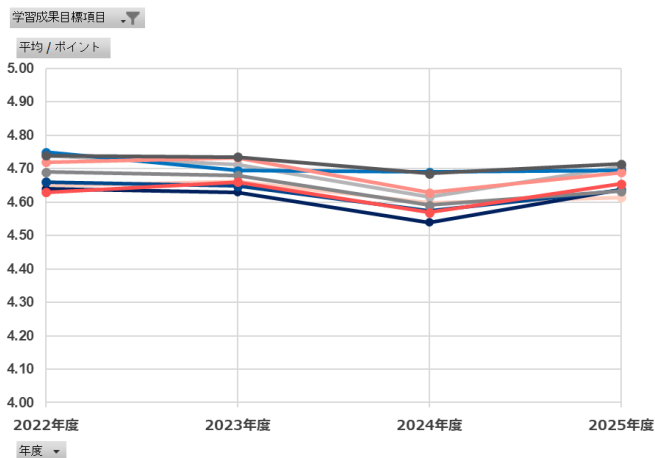
Ⅱb 保育の原理・目的の理解



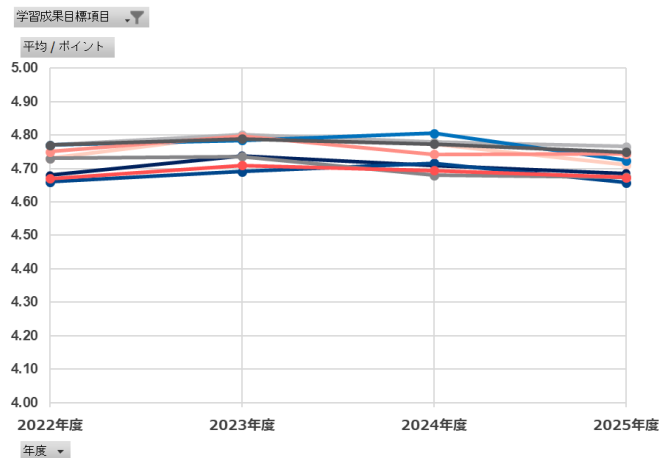
Ⅱc 保育及び支援の対象の理解



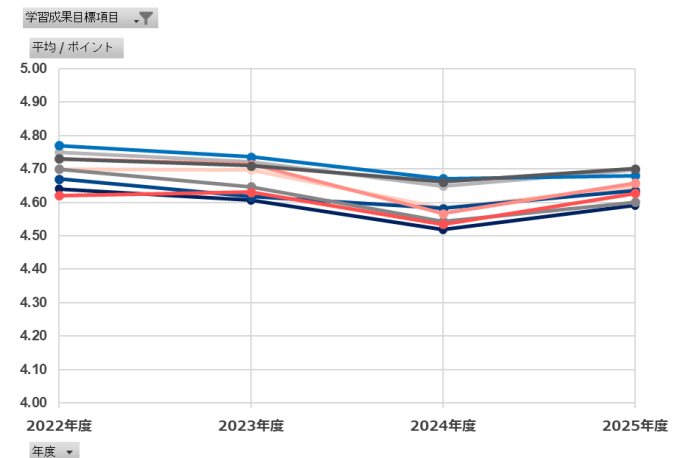
Ⅱd 保育内容や保育方法、具体的援助の方法の理解



Ⅱe 保育に関する基礎的技能の獲得



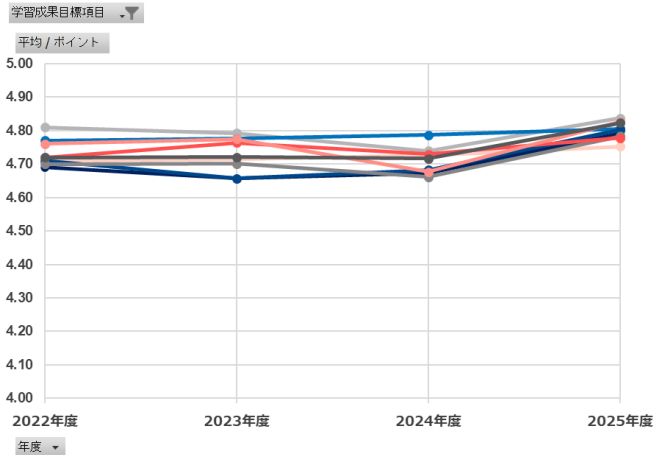
Ⅱf a～eに基づく保育の総合的実践力の基礎の獲得



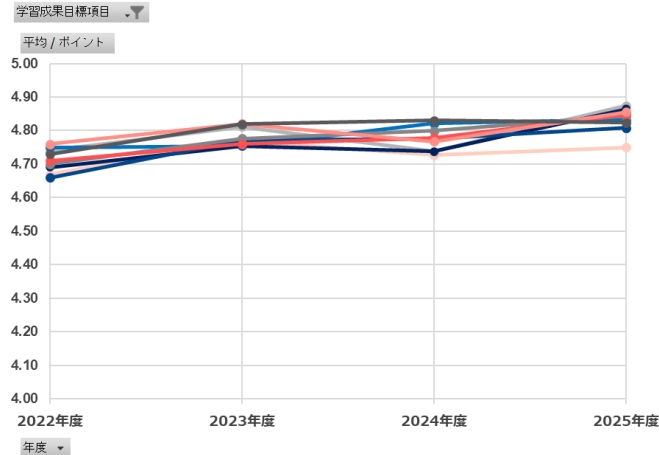
授業姿勢 目的理解 シラバス 内容理解 教材工夫 伝達方法 AL活用 授業満足度 学習成果

調査項目③ 経年推移(こども学科(幼児教育科))

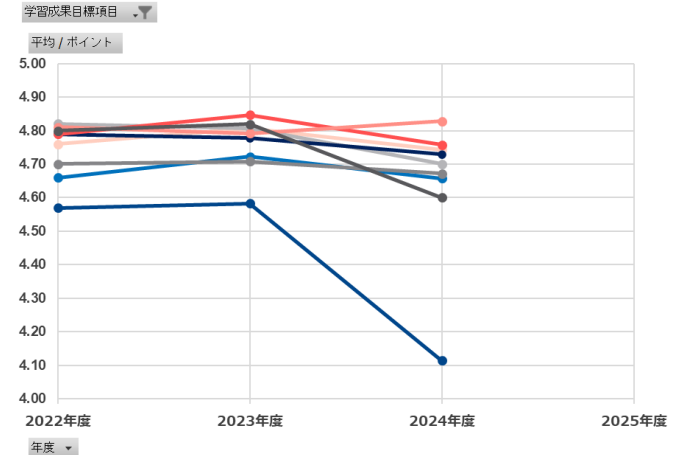
Ⅲ 保育実践の思考力や課題解決能力、行動力の基礎の修得



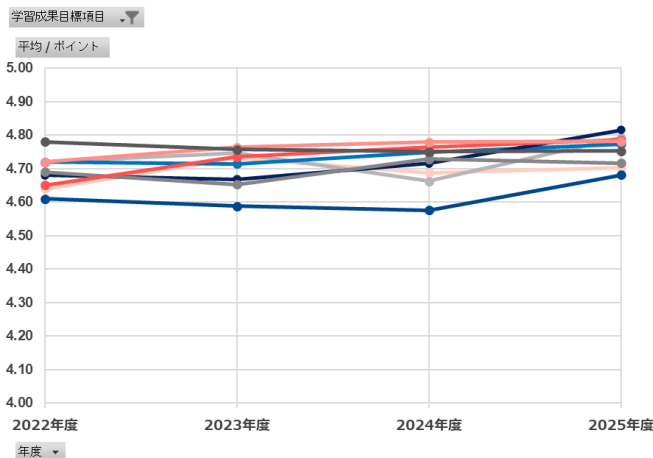
Ⅳ 保育実践の表現力・創造力・感性の基礎の修得



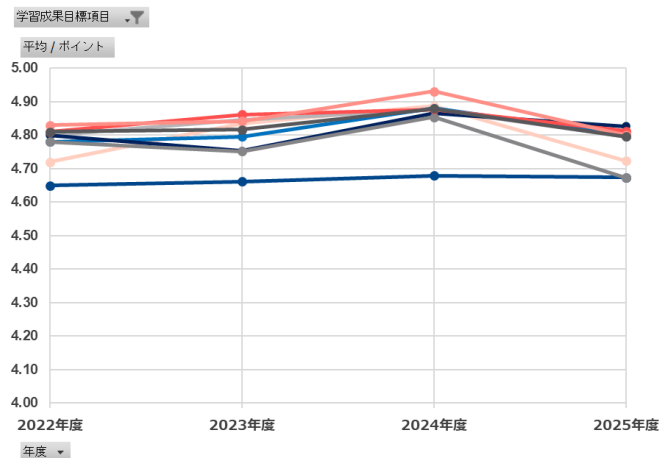
Ⅴ 保育実践の主体性や自己学習能力の基礎の修得



Ⅵa 保育者の体験力の基礎の修得



Ⅵb 保育者の人間関係力、他者との協働性の基礎の修得



授業姿勢 目的理解 シラバス 内容理解 教材工夫 伝達方法 AL活用 授業満足度 学習成果

調査項目③ 国際コミュニケーション科専門科目の学修成果(詳細)

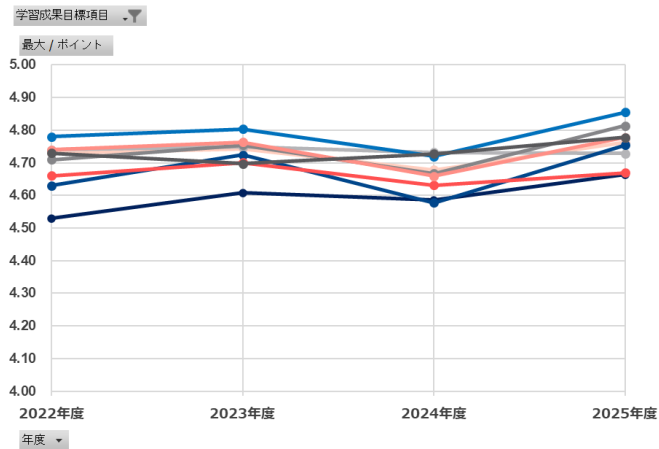
- 国際コミュニケーション科の学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値は、4.71(昨年:4.73)であった。昨年と比べて若干の減少がみられる。
- 経年推移では、「社会人基礎力・キャリア形成力」、「基礎的知識・学修スキル」においてポイント上昇傾向が見られ、「各分野の応用力・専門性」、「有効な資格取得」、「工夫する力」においてポイント低下傾向がみられる。

表7 国際コミュニケーション科 学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値

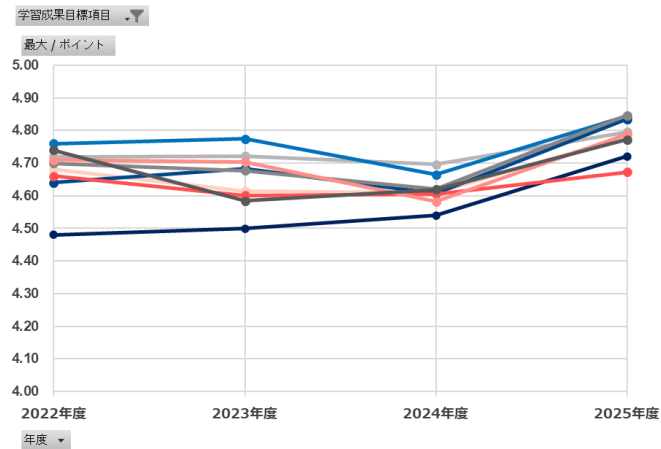
学習成果目標	科目数	学習 時間	授業 姿勢	目的 理解	シラ バス	内容 理解	教材 工夫	伝達 方法	AL 活用	授業 満足	学習 成果
社会人基礎力・キャリア形成力	15	65分	4.76	4.73	4.85	4.66	4.75	4.81	4.67	4.78	4.78
基礎的知識・学修スキル	5	48分	4.78	4.80	4.84	4.72	4.83	4.85	4.67	4.79	4.77
①各分野の応用力・専門性	20	61分	4.69	4.66	4.77	4.56	4.59	4.71	4.62	4.72	4.68
②有効な資格取得	2	62分	4.52	4.42	4.69	4.32	4.48	4.49	4.47	4.48	4.53
清泉スピリット											
①問題を発見する力	12	68分	4.73	4.74	4.83	4.59	4.70	4.76	4.74	4.78	4.76
②考える力・思考力	20	63分	4.72	4.71	4.81	4.59	4.64	4.73	4.56	4.74	4.69
③工夫する力	14	61分	4.74	4.73	4.74	4.63	4.59	4.77	4.64	4.78	4.74
④コミュニケーション力・表現力	15	69分	4.75	4.68	4.83	4.59	4.65	4.67	4.59	4.71	4.68
⑤行動する力	13	64分	4.77	4.73	4.77	4.67	4.68	4.80	4.75	4.79	4.74
全体		62分	4.74	4.72	4.80	4.63	4.66	4.75	4.64	4.75	4.71

調査項目③ 経年推移(国際コミュニケーション科)

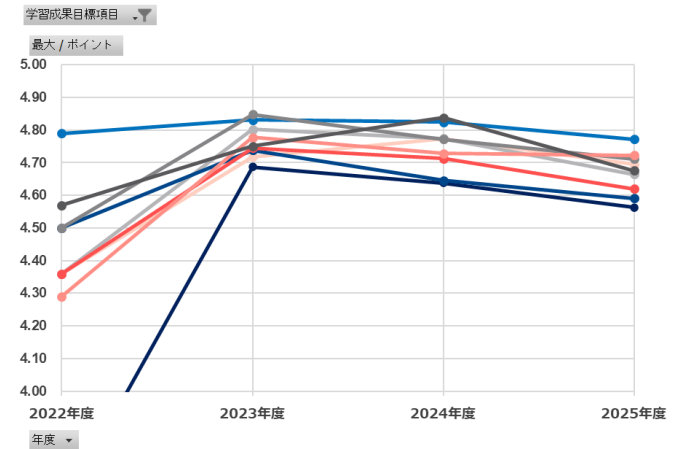
I 社会人基礎力・キャリア形成力



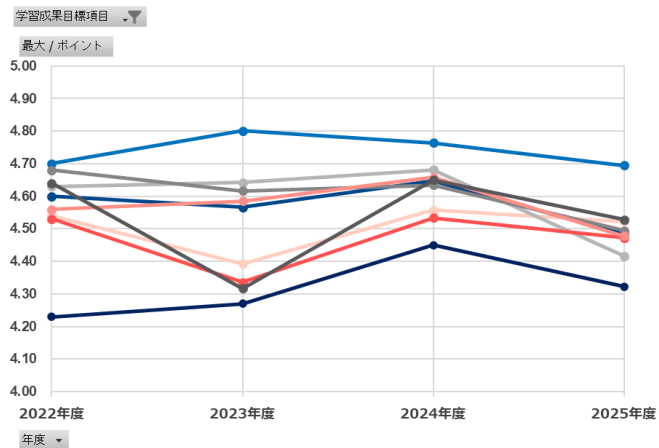
II 基礎的知識・学修スキル



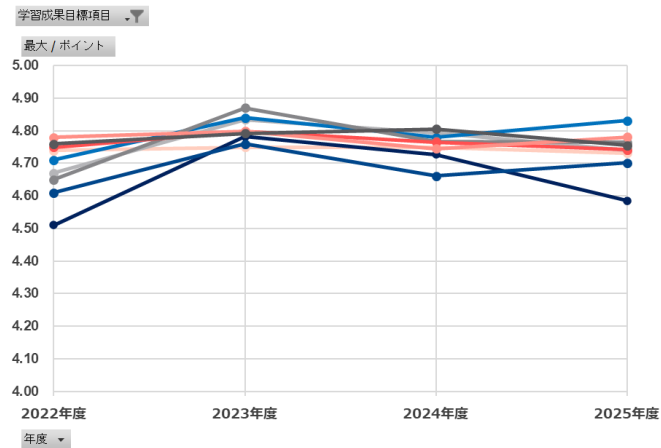
III-① 各分野の応用力・専門性



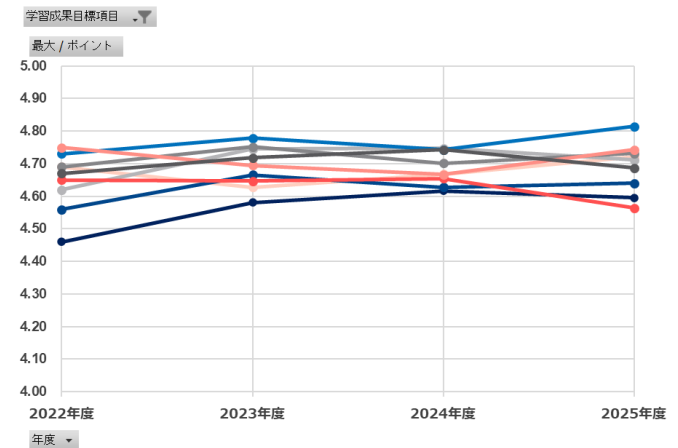
III-② 有効な資格取得



IV-① 問題を発見する力



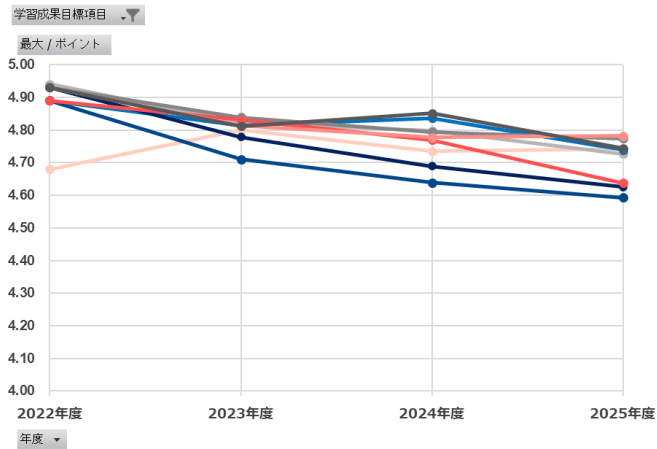
IV-② 考える力・思考力



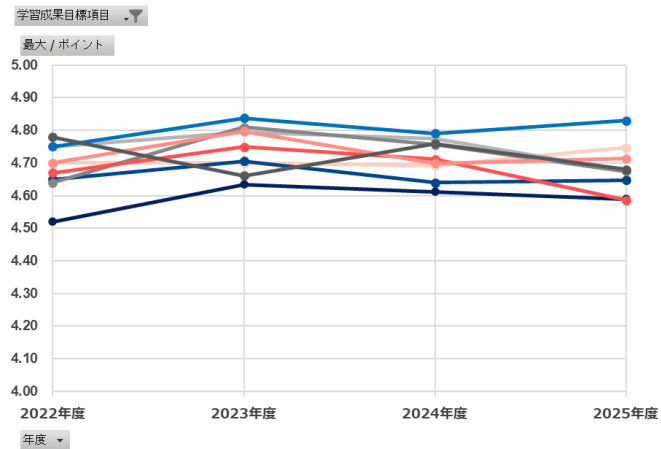
授業姿勢 目的理解 シラバス 内容理解 教材工夫 伝達方法 AL活用 授業満足度 学習成果

調査項目③ 経年推移(国際コミュニケーション科)

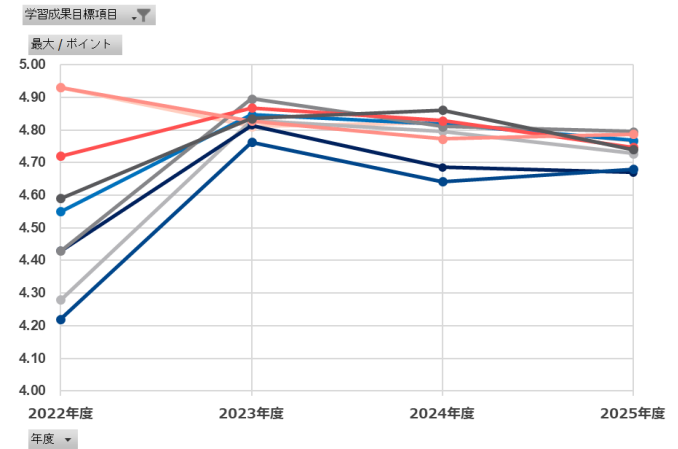
IV-③ 工夫する力



IV-④ コミュニケーション力・表現力



IV-⑤ 行動する力



—●— 授業姿勢
 —●— 目的理解
 —●— シラバス
 —●— 内容理解
 —●— 教材工夫
 —●— 伝達方法
 —●— AL活用
 —●— 授業満足度
 —●— 学習成果

まとめ

- 短期大学部全体における学修時間の平均値は、推定 52.6 分であった。昨年同期の51分と比較するとほぼ同水準値となった。
- 短期大学部全体における授業満足度の平均値は、4.72であり、昨年同期の4.68と比較するとやや上昇した。全体的に良好な状態であったと考えられる。
- 短期大学部全体における学習成果目標に対する目標到達度の平均値は、4.72(昨年同期：4.73)であり、ほぼ同水準値となった。幼児教育科、国際コミュニケーション科ともに学科平均が4.7以上であり、全体的に良好な状態であったと考えられる。
- 昨年と比較すると概ね同程度の数値結果となった。